

家庭での事故防止

乳幼児の応急手当のポイント

① すり傷（擦過傷）切り傷（切創） 刺し傷（刺傷）

- 手当の前に手洗いをしてから、きず口を水で洗い流して消毒する
- 出血部は清潔な指、ガーゼ、タオルなどで圧迫して止血する



② 骨折、脱臼、捻挫

- 骨折や脱臼では患部を安静にして、副子で固定する
- 捻挫は患部を冷やして安静にする



③ 歯の外傷

- きず口の消毒と圧迫止血をする
- 抜けた永久歯は牛乳に浸してすぐに歯科へ！



④ 鼻出血

- 上体を起して、鼻の下部を指でつまみ、鼻の奥に向かって10分位圧迫する



⑤ 頭部外傷 （頭を打った）

- 意識障害、けいれん、繰り返し吐く場合は救急受診を！



⑥ 熱中症

- 涼しい所で安静にして水分と塩分を補給する



⑦ 熱傷（やけど）

- 流水で痛みがなくなるまで患部を冷やす



⑧ 目、耳・鼻の異物 虫刺され（虫刺症）

- 目の異物は汚れた手でこすらない
- 耳の虫は懐中電灯やオリーブ油で取り出す
- スズメバチやクマバチに刺されたら至急病院へ！
- 毒蛾や毛虫にはセロハンテープか流水で手当を



9-a 誤飲

- 気付いた時点で舌の奥を下の方へ押し、すぐに吐かせるのが原則（ただし、吐かせてはいけない場合もある）

9-b 喉頭異物（窒息）

- 口の中に指を入れずに、背部叩打法かハイムリッチ法を!!

⑩ 心肺蘇生法

- 発見者がその場で直ちに始めること!!
- 救急車は平均5～6分で到着します



10-b 心肺蘇生法

0歳児 (10kg未満)

1～8歳児 (10～25kg未満)

子どもの意識がなければ、直ちに始めて!

意識がなければ
気道確保

- 仰向けで、あごを持ち上げて頭を反らせる
- 平らで固い場所に、仰向けに寝かせる
 - あごを指先で軽く持ち上げ、頭を後ろに反らせる
 - 気道確保、呼吸の有無を確認



意識障害時には、頭部を後屈して気道確保をしないと、舌根が下がってきて気道を閉塞してしまう



呼吸がなければ
人工呼吸

- 呼吸がなければ、まずゆっくり2回人工呼吸を行い、その後循環のサインをみる
- 1～15秒かけて息を吹き込む。吹き込む量は胸が上下する位で、お腹はふくれてこない程度に。3秒に1回行う。



循環のサインをみる (心臓が動いているか)

「自発呼吸をしている、咳をする、体を動かす」など循環が保たれているサインがあるかどうかを確認する



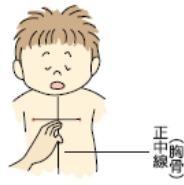
循環のサインがなければ
心臓マッサージ

- 固く平らなところに仰向けに寝かせて
- 胸の厚みの1/3位が沈む位の強さで、垂直に押す
- 胸骨=正中線を外さないこと!
- 1分間に100回が目安
- 5回心臓マッサージしたら、人工呼吸1回を救急車が来るまで繰り返す



圧迫する位置

- ①左右の乳頭を結ぶ線の中心の直下に右手の人差し指を置き、中指と薬指を人差し指にそえて胸骨(正中線)の上に置く
- ②人差し指を持ち上げ、中指と薬指で胸骨上を押す



人工呼吸と心臓マッサージのリズムと回数

